

記念公演

わらび座 WARABIZA

ミュージカル 北斎マンガ

脚本・演出…マキノノゾミ
作曲…八幡茂
振付…新海絵理子

富嶽三十六景 神奈川沖
浪裏

うたは海を渡る

生きるのは、おもしろい!!

ものがたり

時は江戸後期、鉄蔵のちの葛飾北斎、32歳の春。版元の篤屋重三郎がおことを鉄蔵に引きあわせる。家族を亡くして生きる張り合いを失っていたおことだが、日本一の絵師になりたいと夢中で絵を描く北斎の姿に、いつしか自分の夢を重ねていく。

「ものには何でも色と形がある。その一瞬の姿をこの手で写し取れた時、たまらなく愛おしくなる。なんて楽しい、なんて嬉しい。それが絵師の仕事」
戯作者・左七(曲亭馬琴)とコンビを組んでヒット作を飛ばすが、作品の方向性を巡って大げんか。
娘のお栄も鉄蔵に似て絵のことが好きでたまらない。せつかく結婚したのに亭主の絵をけなして離縁させられてしまう。

そんな2人を支える妻・おことだが突然の病に倒れてしまう。おことのために一世一代の絵を描こうと決心する鉄蔵だが、はたして絵を完成させることはできるのか。そして左七との関係は…。